

平成 26 年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

国民を対象とした認知症に関する情報発信に
関する調査研究事業
報 告 書

平成 27 年 3 月

特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク
全国キャラバン・メイト連絡協議会

1. 事業の目的

認知症についての正しい知識の啓蒙啓発については、認知症サポーターの養成等により成果がみられるが、一方で、認知症に関し全く興味を持たない層を含む全国民が一定の認知症の理解をもつことが、社会の偏見をなくすだけでなく、本人・家族が認知症についてオープンにすることを促し、早期発見・対応に結びつくと考えられる。

全国民を対象とする広報事業に向けて内容・方策を検討し、作成を行うことにより、認知症の正しい理解の常識化を図ることを目指す。

マスメディアを活用した全国規模の認知症に関する啓発事業の実施により、認知症の人を含む誰もが地域での暮らしを継続できる住民主体の地域づくりを促進する。

国民が認知症に関心をもつことをきっかけに、正しい理解が浸透することにより、早期発見、対応へと結びつける事業となる効果が見込まれる。

これらの意義を踏まえて、公益の広告活動実施機関である AC ジャパン通じて広報事業を実施した。

2. 事業の概要

(1) 認知症の正しい理解を効果的に促進するための広報内容の検討

下記の要点について、広報内容の検討を行った。

- ・ 認知症は誰もがかかる可能性があるが、周囲が正しい知識をもち適切に対応することで穏やかに地域で暮らすことが可能であることをわかりやすく周知する。
- ・ マスメディアを使った認知症への理解の広報は、日本国内では初めての取り組みであるため、認知症についてまったく予備知識のない人にとっても誤解を招くことのないよう配慮する。
- ・ 認知症について暗い、おそろしいものであるようなイメージ、誤解を招かない表現とする。
- ・ 日常生活あるいは職場で、誰もが認知症についての理解と対応スキルを生かして認知症の人への支援が可能であることを広く広報する。
- ・ TV、ラジオのコマーシャル、新聞・雑誌等、交通広告、映画館広告等、媒体ごとに効果的な広報内容を検討する。

広告作成においては、下記の内容に焦点をあてることとした。

①広告活動の目的

○みんなが認知症について正しい知識をもち、偏見をもたず、助けあうことができる社会をつくる。

○さらに、認知症の正しい知識を身につけた人「認知症サポーター」の周知を図る。

②訴求点

○認知症を正しく理解し、偏見をもたずに認知症の人やその家族に接してほしい。誰もがなる可能性のある認知症は、他人事ではない。自分たちの問題として受けとめ、近所あるいは職場で、小さなことからできる手助けを考えてみよう。

→市町村や職場で、認知症の正しい知識、対応の仕方の基本を学ぶ「認知症サポーター講座」が受けられる（オレンジリングは、その受講の証）。

<関連情報>

・世界一の長寿大国日本は、多数の認知症高齢者を抱える国。国内の認知症の人の数は2015年に345万人、2025年に470万人と推計され、その半数は地域で暮らしている。

・80歳以上の4人に1人が認知症である（日本の平均寿命は男性79.44歳、女性85.90歳）。

・認知症の人は、記憶障害、認知障害などから日常生活に支障を来し、周りの人との関係が損なわれることもしばしば起こる。しかし、周囲の理解とちょっとした手助けがあれば、穏やかに住み慣れた地域で暮らしていくことは可能である。

・認知症の人と「認知症サポーター」の割合は1対1、さらにそれ以上へと増加することは、社会の偏見をなくすだけでなく、家族が認知症についてオープンにすることを促し、認知症の早期発見にもつながる。

③ターゲット

全国民をターゲットとする。地域で暮らす住民（小学生から高齢者まで）、また認知症の人の生活に直接関わる業種の企業団体等がおもな対象となる。

④表現上の留意点

・「認知症」を恐ろしい病気、暗いイメージのものとしてとらえる表現は避ける。

(高齢になれば誰もがかかる可能性がある、また、適切な支援・環境により、認知症になっても住み慣れた地域で穏やかに暮らすことは可能である。)

(2) 全国民を対象とする広告の作成

(1) を踏まえた広報事業を、次の媒体を用いて実施した。

① テレビ・ラジオコマーシャル

- ・テレビコマーシャル：DVD 添付
- ・ラジオコマーシャル（別紙 1）

② 新聞・雑誌

- ・新聞広告（別紙 2）
- ・雑誌広告（別紙 3）

③ 交通広告

首都圏を中心とした鉄道各社において、駅構内ポスター（B 全・約 800 枚）、車内吊り広告（B3・約 41,000 枚）を掲示した。（別紙 4）

④映画館広告（映画館でのCM放映）※内容はテレビコマーシャルと同様

上映期間：平成26年7月～9月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
千葉	柏	MOVIX柏の葉	10	2,009
大阪	八尾	MOVIX八尾	12	2,436
山口	周南	MOVIX周南	7	1,550

上映期間：平成26年10月～12月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
東京	昭島	MOVIX昭島	12	2,429
茨城	つくば	MOVIXつくば	9	1,632

上映期間：平成26年10月、11月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
兵庫	神戸	OSシネマズ神戸ハーバーランド	9	1,400

上映期間：平成26年12月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
福岡	福岡	福岡中洲大洋映画劇場	4	596

上映期間：平成27年1月～3月

都道府県	地区	劇場名	スクリーン数	座席数
東京	銀座	東劇	1	435
東京	錦糸町	楽天地シネマズ錦糸町	4	966
兵庫	神戸	神戸国際松竹	4	516

3. 事業の効果

全国民を対象とする認知症の正しい理解に関する情報発信を実施することにより、認知症について関心をもたない層の国民の意識に働きかける効果が得られている。また、特に新聞広告等において認知症についての正しい解説を読んだ読者からは、知識を得たことにより、さらなる学習への希望、地域での支援への興味を持つ例も見られた。

テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、映画館広告、交通広告のいずれかを見て、地域ケア政策ネットワークに平成 26 年 7 月～平成 27 年 3 月に約 110 件の電話照会があった。

視聴した媒体としてはテレビ 5 件、ラジオ 15 件、新聞 90 件、交通広告 5 件となる。

問い合わせ内容としては、

①「認知症について勉強してみたいので、どのような方法があるか」「認知症の人のために何かボランティアができると思う」等、学習や実践に関する相談先について約 15 件、

②「家族が認知症であり対応に苦慮している」「自分が認知症かもしれないので相談先を知りたい」等の認知症に関する相談機関について約 40 件あった。

①の問い合わせに対しては、市区町村の「認知症サポーターキャラバン」担当課連絡先を伝え、②の内容の問い合わせには相談者の最寄りの地域包括支援センター等相談機関を紹介する対応を事務局にて行ってきた。

認知症サポーターの年間養成数は、平成 25 年度 850,296 人に対し平成 26 年度 1,106,566 と約 1.3 倍に増加しており、平成 25 年度における前年度比（約 1.05 倍）、平成 24 年度における前年度比（約 1.06 倍）を大きく上回るところにも、全国民向け情報発信の効果があらわれていると考えられる。

「お互いさま」40秒

BGM～♪

NA： 認知症。

それは、85歳以上の4人に1人がかかるといわれる、とても身近な病気です。

だからこそ、「お互いさま」の精神で、地域みんなで助け合うことが大切です。

いつもと変わった様子がないか気にかけてみる。

まちなかで困っている人がいたら声をかけてみる。

認知症の人と、その家族に、さりげないサポートをお願いします。

認知症になっても、安心して暮らせるまちへ。

みんなで、見守る。地域で、支える。

認知症サポーターキャラバン。

CI： ACジャパンは、この活動を支援しています。

「お互いさま」20秒

BGM～♪

NA： 認知症は、85歳以上の4人に1人がかかるといわれています。誰でもなる可能性がある、とても身近な病気だからこそ、「お互いさま」の精神で、助け合うことが大切です。

みんなで、見守る。地域で、支える。
認知症サポーターキャラバン。

CI： ACジャパンは、この活動を支援しています。

認知症。 みんなで見守る。 地域で、支える。

認知症は、85歳以上の4人に1人がかかるといわれます。
 高齢になれば、誰でもなる可能性のある、病気です。
 超高齢社会の日本では、「お互いさま」の精神で、
 地域みんなで見守り助け合うことが、何よりも大切です。
 認知症になっても、安心して暮らせるまちを、
 みんなでつくっていきましょう。

※厚生労働省ウェブサイトで「みんなのメンタルヘルス」より



認知症の正しい知識を身につけましょう。

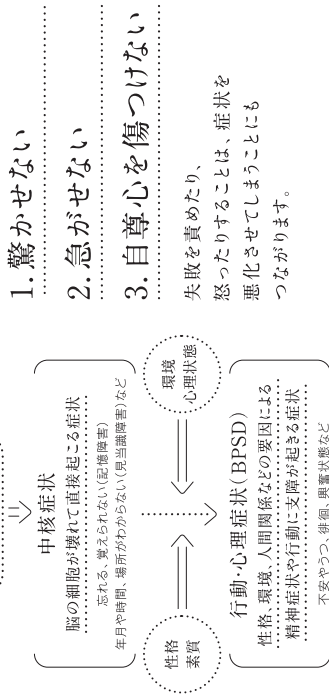


◎ 認知症とは

いろいろな病気が原因で脳の細胞がダウンし、脳の働きに不都合が生じることで、障害が起こり、生活に支障が出ている状態を「認知症」といいます。

◎ 認知症の症状

◎ 認知症の人への対応
 “3つの「ない」”



認知症の症状に最初に気づくのは本人です。

認知症の人はなにもわからないわけではありません。誰より心配なもの、苦しいのも、悲しいのも本人です。

認知症サポーターキャラバン
 特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク



03-3266-0551
[受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00]

検索

ACジャパンは、この活動を支援しています



公益社団法人 ACジャパンは全国1,000を超す民間の企業と団体が
 ひとつになって、広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

公益社団法人 ACジャパン 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(銀座番通ビル) TEL.(03)3571-5195
 ◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」をお送りします。(切符205円同封) ◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

新聞5段

認知症。みんなで見守る。 地域で、支える。



認知症は、85歳以上の4人に1人がかかるといわれます*。

高齢になれば、誰でもなる可能性がある、病気です。

超高齢社会の日本では、「お互いさま」の精神で、

地域みんななどで助け合うことが、何よりも大切です。

認知症になっても、安心して暮らせるまちを、

みんなのでつくっていきましょう。

*厚生労働省のウェブサイト「みんなのメンタルヘルス」より

ACジャパンは、この活動を支援しています



公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す民間の企業と団体が
ひとつになって、広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。

公益社団法人 ACジャパン 〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(銀座電通ビル) TEL.(03)3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」をお送りします。(切手205円同封) ◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

認知症の正しい知識を身につけましょう。



認知症サポーターの印
オレンジリング

◎ 認知症とは

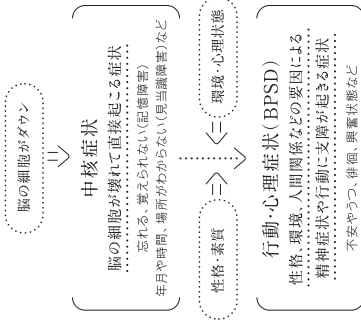
いろいろな病気が原因で脳の細胞がダウンし、脳の働きに不都合が生じることで、
障害が起こり、生活に支障が出ている状態を「認知症」といいます。

◎ 認知症の症状

◎ 認知症の人への対応“3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

失敗を責めたり、怒ったりすることは、
症状を悪化させてしまうことがあります。



認知症の症状に

最初に気づくのは本人です。

認知症の人にはなにもわからないのでありません。
誰より心配なのも、苦しいのも、悲しいのも本人です。

認知症サポーターキョーカラバン



03-3266-0551
受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00
認知症サポーターキョーカラバン

特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

認知症。
みんなで、見守る。
地域で、支える。



認知症の正しい知識を身につけましょう。

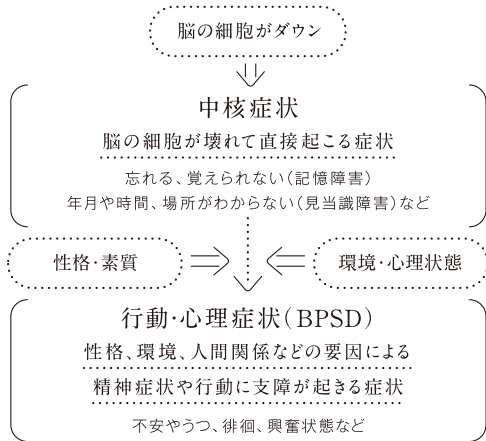


認知症サポーターの印
オレンジリング

◎ 認知症とは

いろいろな病気が原因で脳の細胞がダウンし、
脳の働きに不都合が生じることで、障害が起こり、
生活に支障が出ている状態を「認知症」といいます。

◎ 認知症の症状



◎ 認知症の人への対応“3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

失敗を責めたり、怒ったりすることは、
症状を悪化させてしまうことにもつながります。

認知症の症状に最初に気づくのは本人です。
認知症の人はなにもわからないではありません。
誰より心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

☎ 03-3266-0551

[受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00]

認知症サポーターキャラバン

検索



ACジャパンは、この活動を支援しています

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す
民間の企業と団体がひとつになって、
広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。



公益社団法人 ACジャパン
〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(銀座電通ビル)
TEL.(03)3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」を
お送りします。(切手205円同封)
◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

認知症。 みんなで、見守る。 地域で、支える。

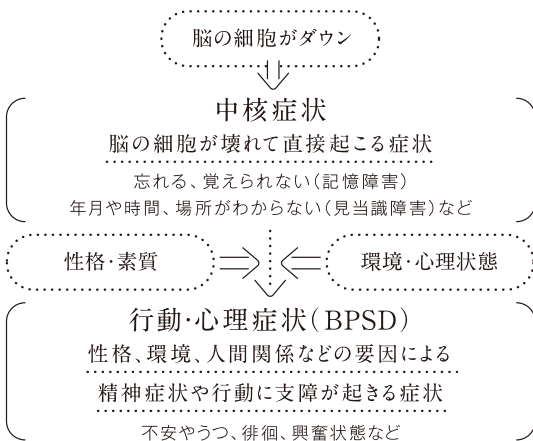


認知症の正しい知識を身につけましょう。  認知症サポーターの印
オレンジリング

◎ 認知症とは

いろいろな病気が原因で脳の細胞がダウンし、
脳の働きに不都合が生じることで、障害が起こり、
生活に支障が出ている状態を「認知症」といいます。

◎ 認知症の症状



◎ 認知症の人への対応“3つの「ない」”

1. 驚かせない 2. 急がせない

3. 自尊心を傷つけない

失敗を責めたり、怒ったりすることは、
症状を悪化させてしまうことにもつながります。

認知症の症状に最初に気づくのは本人です。
認知症の人はなにもわからないではありません。
誰より心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

認知症サポーターキャラバン

特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

☎ 03-3266-0551

[受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00]

認知症サポーターキャラバン

検索



ACジャパンは、この活動を支援しています

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す
民間の企業と団体がひとつになって、
広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。



公益社団法人 ACジャパン

〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(銀座電通ビル)

TEL.(03)3571-5195

◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」を

お送りします。(切手205円同封)

◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

認知症。
みんなで、見守る。
地域で、支える。

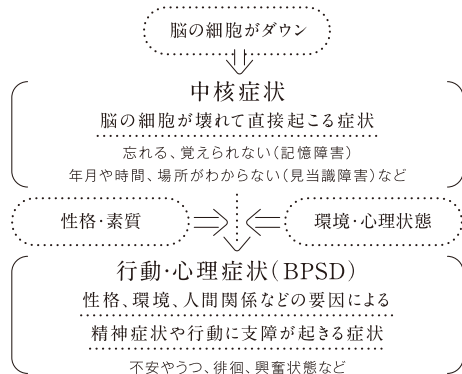


認知症の正しい知識を身につけましょう。  認知症サポーターの印
オレンジリング

◎ 認知症とは

いろいろな病気が原因で脳の細胞がダウンし、
脳の働きに不都合が生じることで、障害が起こり、
生活に支障が出ている状態を「認知症」といいます。

◎ 認知症の症状



◎ 認知症の人への対応“3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

失敗を責めたり、怒ったりすることは、
症状を悪化させてしまうことにもつながります。

認知症の症状に最初に気づくのは本人です。
認知症の人はなにもわからないではありません。
誰より心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

☎ 03-3266-0551

[受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00]

認知症サポーターキャラバン

検索



ACジャパンは、この活動を支援しています

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す
民間の企業と団体がひとつになって、
広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。



公益社団法人 ACジャパン
〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(銀座電通ビル)
TEL.(03)3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」を
お送りします。(切手205円同封)
◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>



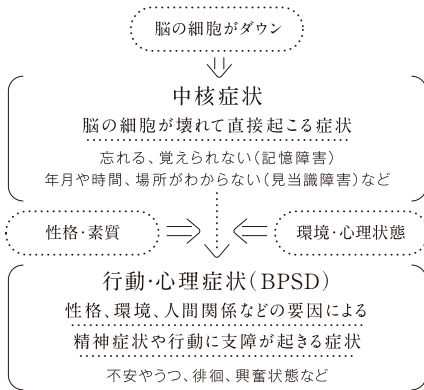
認知症。
みんなで、見守る。
地域で、支える。

認知症の正しい知識を身につけましょう。  認知症サポーターの印
オレンジリング

◎ 認知症とは

いろいろな病気が原因で脳の細胞がダウンし、
脳の働きに不都合が生じることで、障害が起こり、
生活に支障が出ている状態を「認知症」といいます。

◎ 認知症の症状



◎ 認知症の人への対応“3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

失敗を責めたり、怒ったりすることは、
症状を悪化させてしまうことにもつながります。

認知症の症状に最初に気づくのは本人です。
認知症の人はなにもわからないのではありません。
誰より心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

☎ 03-3266-0551
[受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00]

認知症サポーターキャラバン

検索




ACジャパンは、この活動を支援しています

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超す
民間の企業と団体がひとつになって、
広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。



公益社団法人 ACジャパン
〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(銀座電通ビル)
TEL.(03)3571-5195
◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」を
お送りします。(切手205円同封)
◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

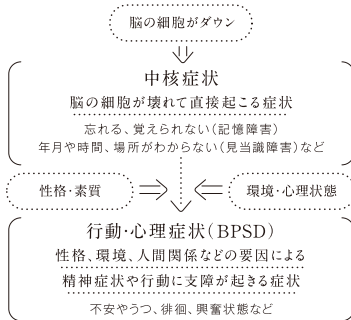


認知症の正しい知識を身につけましょう。 

◎ 認知症とは

いろいろな病気が原因で脳の細胞がダウンし、脳の働きに不都合が生じることで、障害が起こり、生活に支障が出ている状態を「認知症」といいます。

◎ 認知症の症状



◎ 認知症の人への対応“3つの「ない」”

1. 驚かせない
2. 急がせない
3. 自尊心を傷つけない

失敗を責めたり、怒ったりすることは、症状を悪化させてしまうことにもつながります。

認知症の症状に最初に気づくのは本人です。認知症の人はなにもわからないのではありません。誰より心配なもの、苦しいもの、悲しいのも本人です。

認知症サポーターキャラバン
特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

☎ 03-3266-0551

[受付時間 月曜～金曜 9:00～17:00]

認知症サポーターキャラバン 検索



ACジャパンは、この活動を支援しています

公益社団法人 ACジャパンは全国の1,000を超える民間の企業と団体がひとつになって、広告を通して社会にメッセージを送り続ける非営利組織です。



公益社団法人 ACジャパン
〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-17(銀座電通ビル)
TEL.03)3571-5195

◆ご希望の方に「ACジャパンのご案内」をお送りします。(切手205円同封)
◆ホームページ <http://www.ad-c.or.jp>

渋谷駅構内広告



東急田園都市線車内吊り広告



国民を対象とした認知症に関する情報発信に関する調査研究事業
報告書

平成 26 年度 老人保健事業推進費等補助金（老人保健健康増進等事業）

平成 27 年 3 月

特定非営利活動法人 地域ケア政策ネットワーク

〒162-0843

東京都新宿区市谷田町 2-7-15 近代科学社ビル 4 階

TEL 03-3266-1651 FAX 03-3266-1670